

【活動の主題】 第 50 回校内相撲記念大会を盛り上げよう

【学校名】 東近江市立湖東第三小学校

1 本校の概要

本校は湖東平野の中に位置する児童数 180 名程度の小学校である。50 年前から校内相撲大会が行われており、「やろう くじけず 最後まで」の合言葉とともに大切な伝統として受け継がれている。また PTA もこの行事のために、出羽海部屋から力士を招聘したり、屋根付きの土俵を作るなどして大会を盛り上げてきた。



2 取り組んだ内容

(1) 湖東第三小学校の相撲大会を盛り上げる会発足

コロナ禍で校内相撲大会への大相撲力士の招聘は見送られてきたが、コロナ禍も一段落したことで校内相撲大会に大相撲力士の招聘を再開して欲しいという声をたくさんいただくようになった。しかし、力士の招聘には寄付金集めや出羽海部屋との折衝など、PTA 役員の担ってきた仕事は膨大であり、現状の PTA でかつてのような運営をすることは難しいため、地元の有志で「湖東第三小学校の相撲大会を盛り上げる会」が発足し、令和 6 年度には 5 年ぶりに出羽海部屋から 3 名の力士を招聘することができた。



(2) 第 50 回記念大会を盛り上げたい

令和 7 年度の校内相撲大会は、50 回目の記念大会となり、今までよりも盛大な大会にしたいという声が上がリ、例年の倍となる 6 名の力士を出羽海部屋から招聘することになった。

一方、名古屋場所の前でないと大相撲の力士を招聘できない事情から、開催は 7 月上旬に限られ、近年の猛暑から、当日の気温によっては中止せざるを得ないことも予想された。

そこで、学校にあるテントに加え、市の保有するテントを借用し、20 張のテントで日陰を確保した。また、

ミストファンを 20 台レンタルし観覧席に配置した。さらに、救急ステーションとして、エアコン付きのユニットハウスを 2 棟お借りした。

力士の送り迎えや食事等の接待、そしてミスト等のレンタル費用や警備費用等は例年以上の大きな出費となり、テントの設営やミストファンの設置等に必要なスタッフの数も例年以上となったが、PTA と地元の強力なお力添えで無事に開催することができた。



3 活動の成果

校内相撲大会当日は、出羽海部屋から御嶽海関をはじめ 6 名の力士を迎え、子どもたちが力士と相撲を取ったり、一緒にゲームをしたりと、思い出に残る大会となった。地元からも、商工会をはじめ多くの方が応援に駆けつけてくださり、大いに盛り上げていただいた。

予想通り大変暑い日となったが、ミストファンの効いた涼しいテントからの見学や観戦することができ、体調を崩す児童もなかった。

今年度は第 50 回の記念大会ということで、地元の方から多くの協力を得ることができたが、次年度以降も同じような規模で大会を続けることは難しいと思われる。しかし、本校の伝統行事である相撲大会を、可能な形で続けていきたい。幸い、出羽海部屋の親方からは、7 月以外の時期の力士の派遣も検討いただけることとなったので、熱中症対策のいらない時期での開催を検討したい。

